

現地報告 24 ラジオアンケート調査

2007年6月から11月までの6ヶ月間、地雷被害者をはじめとする障害者の精神的ケア、障害者への差別の撲滅、新たな地雷被害の減少を目指してカンボジアの中でも特に地雷・不発弾の被害者の多い地域をターゲットエリアとして放送されたラジオプログラム「VOICE OF HEART」。2004年度（1週間の放送）2006年度（4ヶ月間の放送）のプロジェクトに引き続き、今年で3回目の取り組みであったわけだが、今回も視聴率をはじめとするその調査結果を報告すると同時にプロジェクトの評価を行なう。



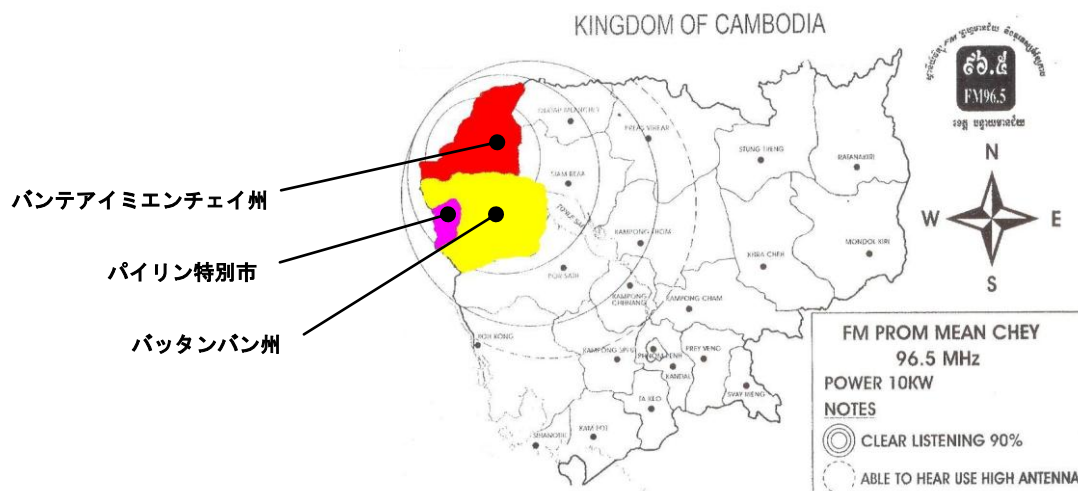
各地に配られた「VOICE OF HEART」の広告

調査期間：2007年9月1日～31日

対象：地雷被害者の多い州で暮らす住人 2,000人

構成：障害の有無別・・・障害有 511人、障害無 1,489人

地域別・・・バタンバン 862人、バンテアイミエンチェイ 590人、  
パイリン 548人

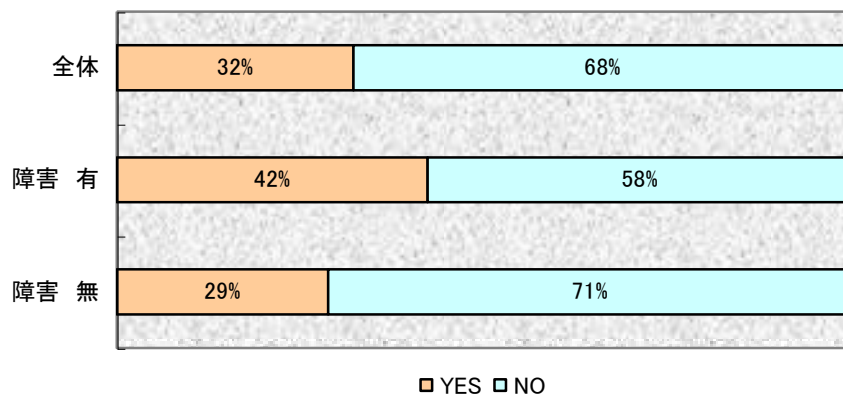


バンテアイミエンチェイ FM96.5 の可聴域

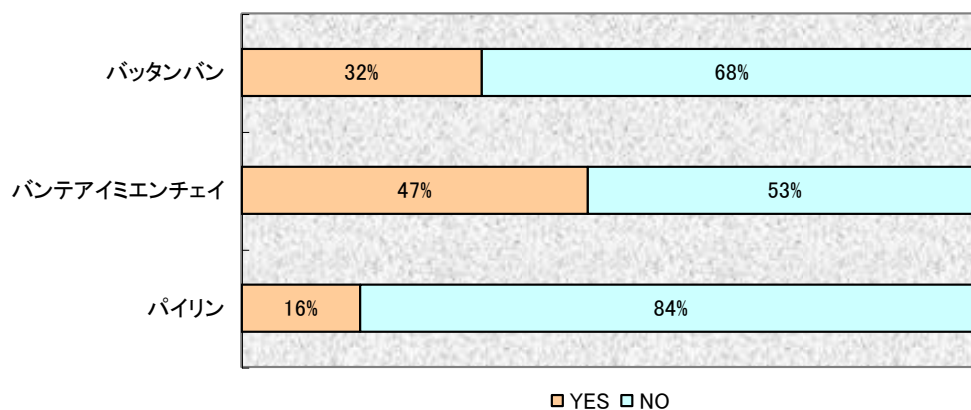
### ①視聴率はどうであったか？

可聴エリアの住民 2,000 人に質問

Q: VOICE OF HEARTを聞いたことがありますか？



### 地域別

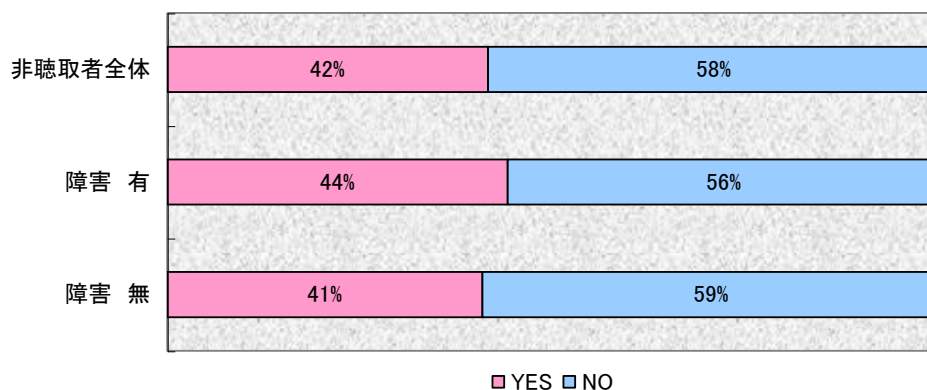


昨年度の視聴率は43%であったが、今回は32%であった。パイリンの視聴率が低い。当番組の放送時間帯にパイリンの別の放送局で昨年度なかった新たな人気番組の放送が開始されたため、パイリンの聴取者の数が昨年度より伸び悩んだと考えられる。バンテアイミエンチェイ州での視聴率が特に高い。

### ②なぜ聴かなかったのか？

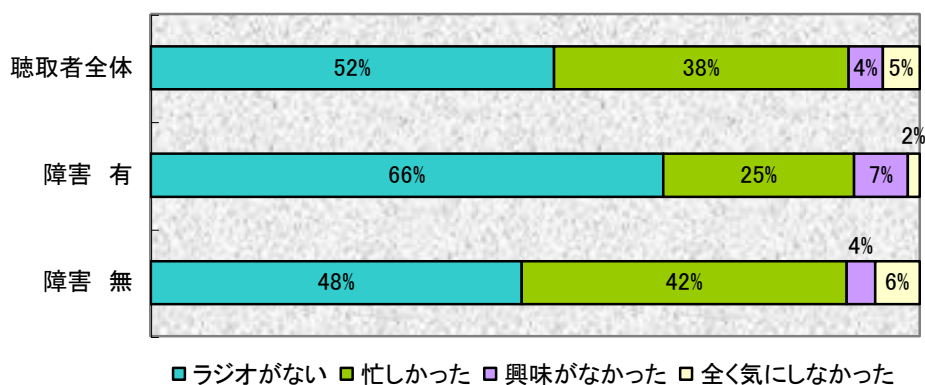
**VOICE OF HEART** を聴かなかった人への質問

Q: 番組を知っていましたか？



**VOICE OF HEART** を知っていたが聴けなかった人への質問

Q: どうして番組を聴けなかったんですか？

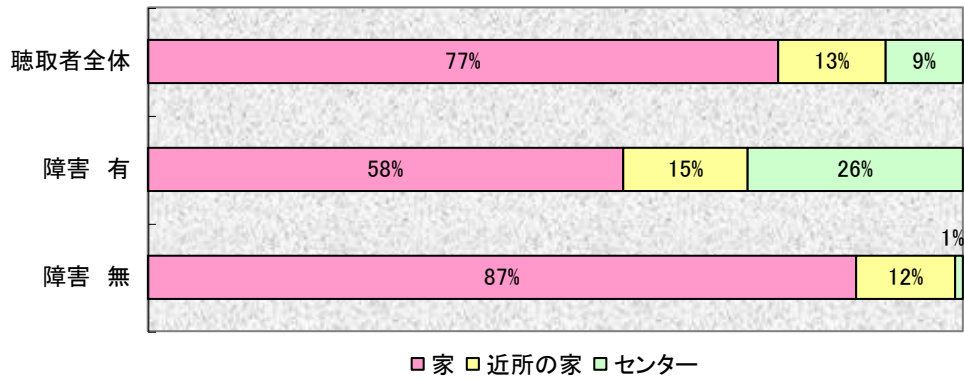


番組を聴けなかった人のうち 42% の人は番組の存在を知っていた。特に障害のある方においては、番組を聴くためのラジオがないから、という回答が多かった。

③ 聴いた人はどうであったか？

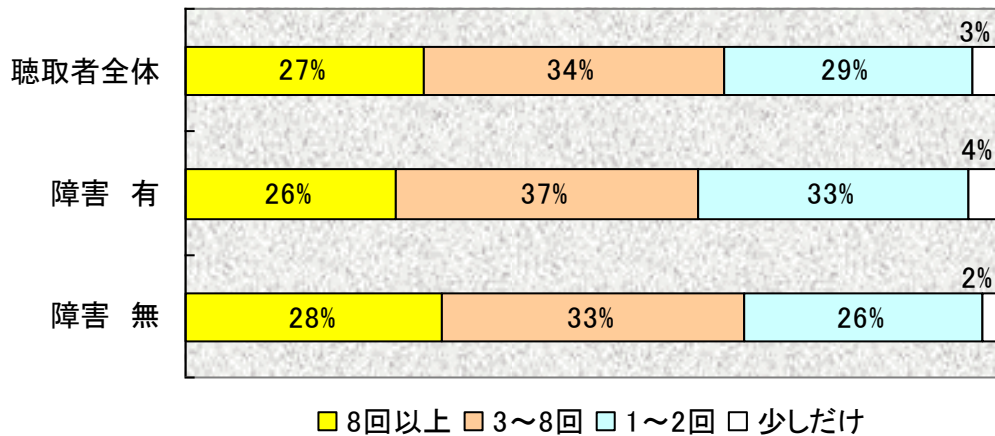
**VOICE OF HEART** を聴いた人全員への質問

Q:どこで聴きましたか？



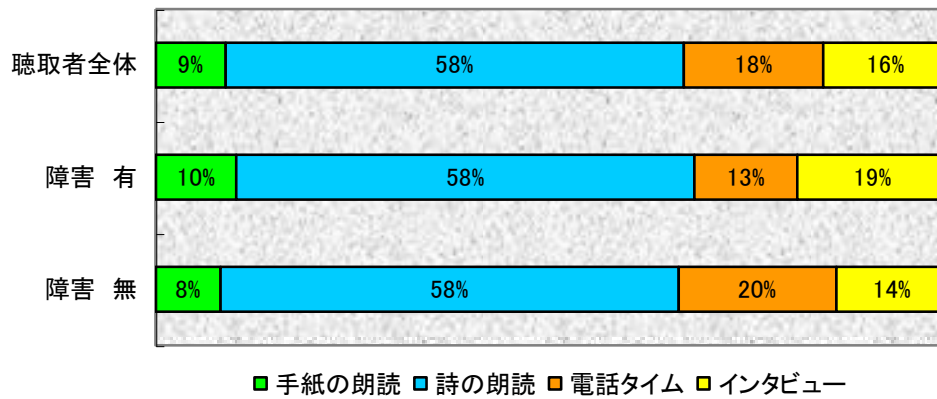
特にバタンバンの障害者においては、義足センターや病院等の各種施設で番組を聴いたというリスナーが多かった。

Q:VOICE OF HEARTをどのくらい聴いたことがありますか？



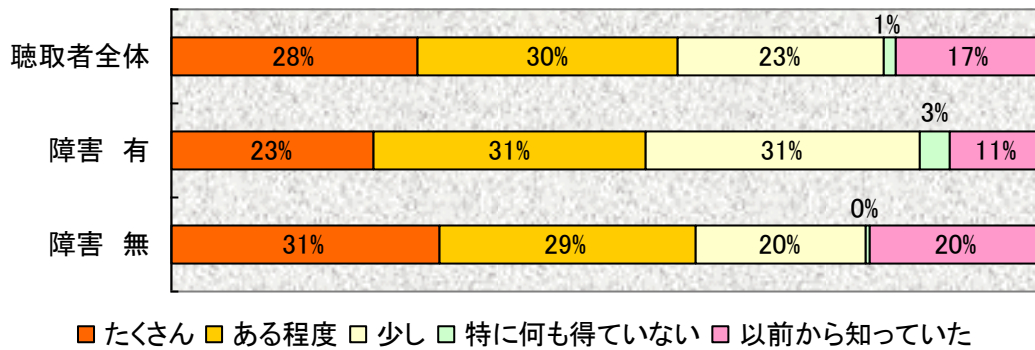
アンケート調査時点での放送回数は約 15 回であるが、3 回以上番組を聴いたというリスナーは 60%以上いた。

Q:どのコーナーが一番好きですか？



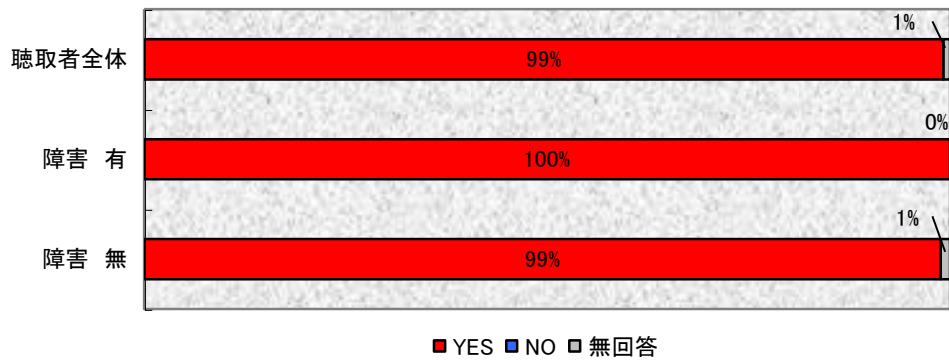
最も人気のあるコーナーはやはり障害者の気持ちが綴られた詩の朗読のコーナーであった。全体では地雷問題を議論する電話コーナーがそれに次いだ。

Q: 番組を聴いて地雷や不発弾のことやその危険性について情報を得ましたか？



程度に差はあるが、およそ 80% のリスナーが番組を聴いて地雷・不発弾の危険性を理解したと回答した。地雷・不発弾は危険だと意識できれば事故も減るはずである。

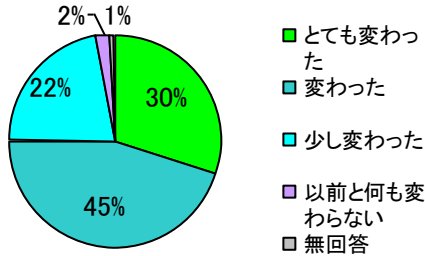
Q: 今後番組を聴きたいですか？



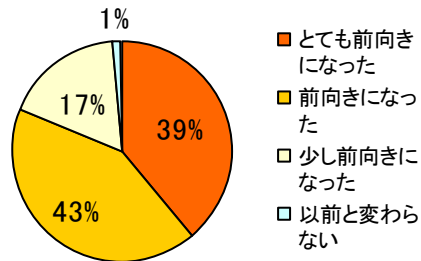
VOICE OF HEART に寄せられる期待は大きい。余談ではあるが、電力不足で放送が中止になった日には「なぜ放送しないんだ。」と放送を求める電話がかかってきた。

**VOICE OF HEART** を聴いた障害を持つ人への質問

Q: 番組を聴いて自分の生活の中で何か変わったことはありますか？



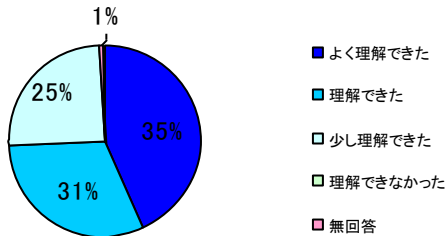
Q: 番組を聴いて前向きに考えるようになりましたか？



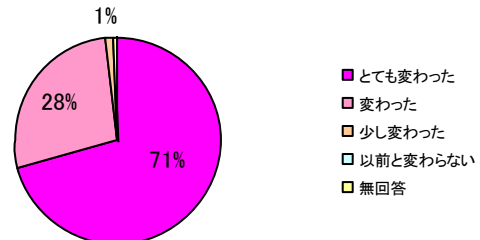
番組を聴く前と聴いた後とでは気持ちの持ちようが大きく変化し、それまでの態度よりも前向きな態度で明るく生活できるようになったという意見が多く聴かれ、調査結果にもそれが顕著に表れた。

**VOICE OF HEART** を聴いた障害を持たない人への質問

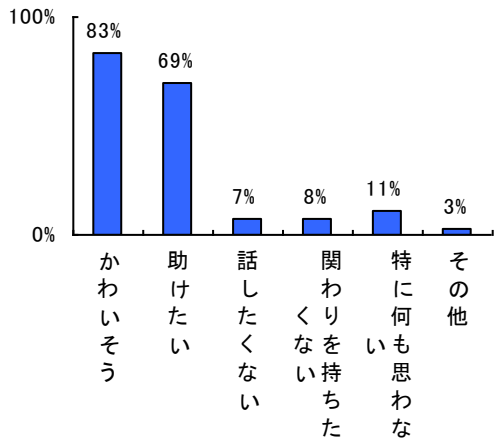
Q: 番組を聴いて障害者の抱える問題や悩みについて理解できましたか？



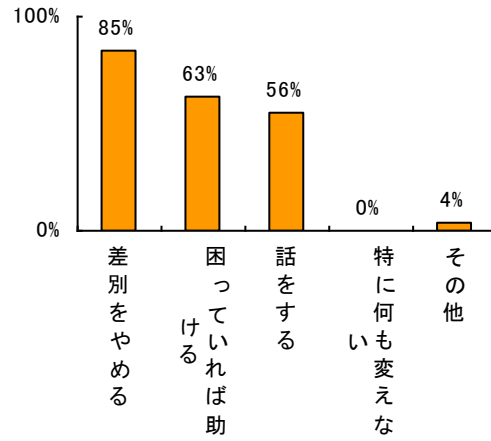
Q: 番組を聴いて障害者に対する印象は変化しましたか？



Q: 番組を聴く前は障害者に対してどのような印象を持っていましたか？  
(複数回答可)



Q: 番組を聴いて障害者に対する態度をどう変えようと思いましたか？  
(複数回答可)



障害者のことについて考える機会はそう多くない。番組によって障害者の苦勞や努力をはじめて理解し、手を差し伸べよう考えるようになったリスナーが多くいた。



#### ④番組に対する感想・意見（抜粋）

##### 障害のある人

- ・ 辛い思いをしているのは私だけではないのだと分かりました。それで心の重圧から開放された気分です。
- ・ 遠くに離れた家族と連絡がとれるきっかけになるので手紙の朗読コーナーが好きです。
- ・ 詩の朗読で私と同じ気持ちを抱えている人が他にもたくさんいることが分かっただけで気持ちが楽になりました。そして困難に立ち向かうたくさんの障害者の方々がいることが分かって自分も勇気が湧きあがってきました。
- ・ 私と同じ境遇の人がどうやってこの試練に打ち克っているのかが分かるからこの番組がダイスキです。
- ・ 詩はノンフィクションなので好きです。ある詩のストーリーは私の事故と同じでとても共感できました。何回も聴きたいです。
- ・ 詩を聴いて毎回、がんばろうというやる気が湧き出てきます。もっと多くの詩を放送してください。
- ・ 普段聞くことのできない他の障害者の方々の考えを聴くことができるからインタビューのコーナーが好きです。
- ・ 障害者を支援する様々なNGOがインタビューコーナーで紹介されて役に立ちます。
- ・ 番組を聴いた全ての障害者は間違いなく励まされていると思います。
- ・ 番組によって僕の障害との人生に明るい光が見えてきました。私も番組で放送されている障害者の方のように家族のために頑張ろうと思います。もっと長く放送して下さい。
- ・ 理由なんかありません。好きだから聴いています。
- ・ 番組で私たち障害者のことがリスナーの皆さんに理解されて嬉しいです。
- ・ 本当に励まされています。毎週聴くのが楽しみです。自信がでてきて、働こうというやる気が出てきました。とても中身の詰まった濃い番組ですね。TVでも放送してください。
- ・ 他の障害者の考えを聴いて、自分の人生についてしっかり考えるようになりました。
- ・ なぜだか分かりませんが、番組を聴くとリラックスでき、幸せな気分になります。
- ・ 障害者としてどう生きていくべきか、番組でその手段をたくさん知ることができました。自分の人生についてあらためて考えるきっかけになりました。
- ・ 地雷被害を無くすだけでなく、すでに被害にあった方を精神的に救うこの番組は最高です。番組では障害者を支援するNGOが紹介されていますが、これは障害者にとって本当に貴重な情報でありがたいです。
- ・ 番組を聴いて、何でもできることには挑戦していこうと思うようになりました。放送をずーっと続けてください。私のような障害者にとって、ものすごく大切な番組です。
- ・ もっと多くの障害者を励ますためにぜひ放送を続けてください。

## 障害のない人

- ・ 詩の朗読は障害者の悩みや苦勞が伝わってきてしみじみとします。障害者の皆さんが大変な困難に対峙していることが分かりました。
- ・ 障害者にまつわる、時には甘く切ないストーリーが聴けて良かったです。詩を綴ることで障害者の皆さんが心の奥底の声を表現できるからすごく良いと思います。
- ・ 電話コーナーでは、地雷や不発弾の危険性がよく分かりました。一般の人々に地雷の危険性を啓蒙できている点で素晴らしく良いと思います。どうすれば地雷事故にあわないですむのかが分かりやすかったです。だから電話コーナーをもっと長くしてください。
- ・ 番組内容は完璧でこれからも変える必要はないと思います。どうか毎日放送してください！パイリンの放送局でも放送を始めてください。
- ・ 障害者の方は本当に苦勞されているのですね、助けてあげたいです。
- ・ 番組を聴いて障害者の方々が抱える悩みが理解できました。これからは障害者のことを思いやって接していきます。
- ・ 地雷や不発弾について勉強になりました。CMCのDJのトークが分かりやすく、勉強になります。家族や友達にもその危険性を教えてあげました。
- ・ 番組を聴いてから、知らず知らずのうちに自分が障害者の人々を見下していたことに気付きました。これからは同じ人間として、できることをしてあげようと思います。障害者に対する偏見がこの番組のおかげで間違いなく減ると思います。
- ・ 週に2回以上放送してください。
- ・ 毎日、昼と夜の2回放送してください。
- ・ 障害のある人だけでなく障害のない私のようなリスナーにとっても興味深い番組だと思います。どうか放送を継続してください。

## 評価

ラジオプロジェクト「VOICE OF HEART」の目的は①地雷・不発弾被害者をはじめとする障害者の方々に、逆境にめげずに前向きに生きようとする気力を持ってもらうこと②地雷・不発弾被害者をはじめとする障害者の方々が抱えている苦労や悩みを人々に理解してもらい、彼らに対する差別・偏見をなくすこと③地雷・不発弾の危険性を啓蒙し、新たな地雷・不発弾被害を減少させること、の3点である。

これらの目的が達成されるためにはまずは多くの人に番組を聴いてもらう必要がある。今回の調査結果では番組の視聴率は32%であった。およそ3人に1人の方が番組を聴いたということになる。特に障害を持った方においては42%と、多くの方が聴いていた。

番組の中で最も人気のあるコーナーは詩の朗読のコーナーであった。カンボジアには地雷被害者をはじめとした障害者がどの地域にも多くおり、障害のない方が彼らと話す機会も多いが、日頃の会話の中で彼らの抱える苦労や悩みを直接聞くことはあまりないのである。また、障害者の方も自分からそういったことを話すことはあまりない。詩は障害者の方が心の奥に秘めた思いを表現する数少ない手段であり、障害の有無に関わらず多くのリスナーがはじめて聴く障害者の率直な思いに共感した。

番組によって自分の人生、家族の幸せについて考えるきっかけが与えられ、それまでの態度に変化があらわれたというリスナーも多かった。障害を持ったリスナーのうち99%の方が以前より前向きな態度を持てるようになったと回答し、97%の方が実際に行動にあらわれていると回答した。また、障害のないリスナーにおいても、番組によりはじめて障害者の気持ちを理解し、それまでの無関心な態度を改めたという方が多かった。99%の方が障害者の抱える問題を理解し、障害者への印象が変わったと回答した。そして85%の方が差別をやめると回答した。これらのことから、上に記した番組の目的のうち①と②は達成されたと言えるのではなかろうか。

③についてはどうであろうか。今回のアンケートで地雷・不発弾の危険性について理解できたと回答したリスナーは81%いた。以前から危険性を認識していたという回答も合わせると98%である。番組を聴いた方のほぼ全員が地雷・不発弾の危険性を意識できたことになる。地雷・不発弾の事故の多くはその危険性を理解しておらず、手に持って遊んだり、解体しようとしたり、魚を獲ろうと池に投げ込む際に起こる。発見しても触れなければ事故に遭わないのだ。番組によりその危険性を理解してもらい、将来の潜在的な地雷被害者を減らすことができたという意味で、③も達成されたと言える。

以上、今回のアンケート調査より、番組がカンボジアの地雷問題および人権問題の解決に大きく貢献し、社会に与えるインパクトも大きいと結論付けられる。2007年度の番組は11月で終了したが、再開を求める声も多く聞かれる。我々としても、そのような社会のニーズに応え、更なる地雷問題の解決、人権問題の解決に向けて来年度も放送を行なう予定である。